## サービス自己評価

## シェルフかごはら第2教室

公表日 : 2024/4/1

## 児童発達支援事業所向けアンケート結果

題	景境	• 体	制整係	描 ————————————————————————————————————
Q. 利用定員が指	導訓網	東室等 ス	スペース	との関係で適切であるか
はい		100	%	ナムを茶のよう。フルトを砂のレフルナナ
いいえ		Ο	%	法令を遵守したスペース以上を確保しています。
Q. 職員の配置数	は適切	]である	るか	
はい		100		人員配置基準以上で対応しています。保育士をはじめ、公認心理師、介護 福祉士、精神保健福祉士など様々な職種の職員が在籍しています。
いいえ		Ο	%	個世上、相呼床庭個世上などがべる場合の現実が止着してvidy。
Q. 生活空間は、 じ、事業所の	本人に 設備等	こわかり	りやすく バリアフ	構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応 リー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか
			٠, ١	
はい		33		おもちゃや道具などは押し入れにしまう等して児童の過ごしやすい場にするように心がけておりますが、民家を再利用してあるためADHD等特性を
いいえ		67	%	持つお子様に配慮してまいります。 
Q. 生活空間は、 た空間となっ	清潔て ている	で、心は ろか	也よく過	でせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせ
		400	0/	
はい		100		空気清浄機設置、毎日の次亜塩素酸での消毒等清潔な環境にするための取り組みをしている。
いいえ	•••	0	%	3.2.5
	業	務	改善	
	:	,		
Q. 業務改善を進	めるた	こめのF	PDCAT	†イクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか

はい	 83	%
いいえ	 17	%

朝夕の打ち合わせでその日に利用するお子様の特性により注意すること、 活動内容の確認、改善について考慮してまいります

Q. 保護者等向け 意向等を把握	評価し、	表により業務改善	り、保 善につ	護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等のなげているか		
はいいえ		100	% %	保護者アンケートを踏まえ、活動内容のお知らせ、活動内容の工夫など業務改善につなげてまいります。		
	結果			者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で		
はいいえ		100	% %	HPでの公開だけでなく、利用児童の保護者に紙ベースでのお知らせもして おります。		
Q. 第三者による	外部	評価を行	行い、	評価結果を業務改善につなげているか		
はいいえ		17 83	%	第三者評価は行っていませんが、必要に応じて検討していきます。		
Q. 職員の資質の	向上	を行うだ	ために	、研修の機会を確保しているか		
はいいえ		83 17	% %	平日の午前中など全職員が参加できる日には対面、オンライン等さまざま な研修に全員で参加しております。 必要に応じ外部研修を検討してまいります。		
適	切力	技支援	受の!	是供		
Q. アセスメント 達支援計画を	を適 作成	切に行い	ハ、子 るか	どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発		
はいいえ		100	% %	日々の支援を通じ、分析した内容で作成しております。		
Q. 子どもの適応行動の状況を把握するために標準化されたアセスメントツールを使用しているか						
はいいえ		67 33	%	使用しております。		
Q. 「発達支援」	, Γ	家族支持	援」、	達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の 「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が 体的な支援内容が設定されているか		
はい		100	%	ご利用者様ひとりひとりに必要である支援を選択し、具体的な支援内容を設		
いいえ		0	%	定しております。		

Q. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか						
はいいえ		100	% %	お子様の発達段階を踏まえ支援計画に沿った支援を行っています。		
Q. 活動プログラ	ムの	立案を	チーム	で行っているか		
はいいえ		100	% %	心理専門職を含めたチームで立案を行っております。 今後はできるだけ月間で立案できるようにしていきたいと考えておりま す。		
Q. 活動プログラ	ムが	固定化	しない	よう工夫しているか		
はい		100	%	職員全体で話し合い、活動プログラムが固定化しないよう工夫しておりま す。		
Q. 子どもの状況 いるか	に応	じて、	固別活	動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成して		
はいいえ		100	% %	その日の利用児童の特性に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ た活動を組み立てております。		
<b>Q.</b> 支援開始前に しているか	は職	員間で	必ず打	合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認		
はいいえ		100	% %	支援開始前に職員全体でミーティングを行い、支援の内容や役割分担を 行っております。		
Q. 支援終了後に 等を共有して	は、	職員間でか	で必ず	打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点		
はいいえ		100	% %	支援終了後に職員全体でミーティングを行い振り返りを行っていますが、 今後さらに検討してまいります。		
<b>Q</b> . 日々の支援に	関し	て記録る	をとる	ことを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		
はい		100	%	支援終了後にその日の支援に関して記録を作成し、支援の検証・改善につ なげております。		

いいえ

Q. 定期的にモニ	タリ	ングを行	テレ / 、	児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか
はい			%	6ケ月ごとに保護者面談を行い、職員全体でも話し合いを行って計画の見 直しを判断してまいります。
いいえ	•••	O	%	
関係機	関々	や保護	者(	との連携
Q. 障害児相談支 が参画してい	援事るか	業所のち	ナービ	ス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者
はい		67	%	サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者と指導担当者が中心に参
いいえ		33	%	加することにしております。
<b>Q</b> . 母子保健や子	ども	• 子育で	支援	等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか
はい			%	必要に応じて母子健康センターや子育て支援センター等と連携した支援を 行っております。
01012		67	%	
Q. (医療的ケア 地域の保健、	が必 医療	要な子と 、障害福	だもや温祉、	重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか
はい		17	%	必要に応じて連絡調整を実施しております。
いいえ		83	%	必要に心して建福制金色美地しておりより。
Q. (医療的ケア 子どもの主治	が必 医や	要な子と 協力医療	ごもや 寮機関	重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 等と連絡体制を整えているか
はい			%	
いいえ			%	必要に応じて連絡調整を実施しております。
Q. 移行支援とし 内容等の情報	て、 共有	保育所や と相互理	認定理解を	こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援 図っているか
はい		50	%	現在、対象のお子さんはいませんが、今後、移行支援が必要となった際に
いいえ		50	%	は情報共有、相互理解を図っていきます。
Q. 移行支援とし 解を図ってい	て、	小学校や	り特別	支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理
はい		50	%	現在、対象のお子さんはいませんが、今後、移行支援が必要となった際に
いいえ		50	%	は情報共有、相互理解を図ってまいります。

Q. 他の児童発達支援 携し、助言や研修	受センターや児 変を受けている	童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連 か
はい … いいえ …	50 % 50 %	必要に応じて対応しております。
Q. 保育所や認定こと	でも園、幼稚園	等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか
はい いいえ	17 % 83 %	必要に応じて対応しております。
<b>Q</b> . (自立支援)協議	義会子ども部会	や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか
はい … いいえ …	50 % 50 %	必要に応じて対応しております。
Q. 日頃から子どもの 持っているか	が沢を保護者	と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を
はい いいえ	83 % 17 %	保護者の方がお迎えに来られた時に伝えたり、連絡帳に記入して様子を伝えるようにしております。
<b>Q.</b> 保護者の対応力の レーニング等)の	)向上を図る観 )支援を行って	点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント·ト いるか
はい いいえ	17 % 83 %	ペアレント・トレーニングは行いませんでしたが、個別の発達相談は行い ました。
保護者	への説明責	<b>責任等</b>
Q. 運営規程、利用者	<b>賃担等につい</b>	て丁寧な説明を行っているか
はい いいえ	100 % 0 %	契約時に重要事項説明書の読み合わせを行い、ご説明しています。
	れた「児童発	児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、こ 達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から いるか
<b>はい</b>	83 %	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、同意を得てい ます
いいえ	17 %	ます。

Q. 定期的に、保 ているか	護者	からのう	子育て	の悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ			
はいいえ		100	% %	お迎え時や電話等で子育ての悩み等に関する相談に応じております。 お気軽にご相談くださいませ。			
Q. 父母の会の活	動を	支援した	<b>三り、</b>	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援して			
はいいえ		17 83	% %	父母の会の活動についてはご要望があれば支援していきたいと考えております。			
Q. 子どもや保護者に周知し、	者か 相談	らの相談や申入れ	炎や申 こがあ	入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護った場合に迅速かつ適切に対応しているか			
はいいえ		100 0	% %	ご利用者様からの相談があった場合は、職員間で共有・検討し解決に努め ております。			
Q. 定期的に会報 発信している	等を: か	発行し、	活動	概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して			
はいいえ		100	% %	毎月発行している「シェルフだより」で活動内容や予定等をお知らせして おります。また、プログやInstagramで定期的に活動内容を発信しており ます。			
Q. 個人情報の取	Q. 個人情報の取扱いに十分注意しているか						
はいいえ		100	% %	SNS等の活用時には個人特定につながらないように配慮するとともに、外部の人に個人的に伝えないようにする等、個人情報には十分注意するようにしております。			
<b>Q.</b> 障がいのある	子ど	もや保護	護者と	の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			
はいいえ		100	% %	連絡帳への記入やお迎えの時にお伝えしております。			
Q. 事業所の行事	に地	域住民を	を招待	する等地域に開かれた事業運営を図っているか			
はいいえ			% %	地域に開かれた事業所として、2020年度から福祉避難所として熊谷市と 協定を結んでいます。			

